

ミレニアの米国**精神科**研修

研修地：カリフォルニア州 ロサンゼルス

対象：精神科関連施設勤務の精神科医師、看護師、
介護福祉士、ソーシャルワーカー、その他スタッフ



✓ **研修内容** (ニーズに合わせて選択・カスタマイズ可、裏面のサンプルスケジュール参照)

米国医療制度概要、及び米国精神科医療機関の現状についての解説

現場視察及び医療スタッフとのディスカッションの理解を深める為、事前に日本語で米国医療の特徴や保険制度について日米比較を交えながら解説。精神科病棟でも平均在院日数が7.5日であり、日本に比較すると外来セラピーが充実している点や早期に在宅ケアに移行する点など、役立ち情報を短時間で効率的にカバーします。

現役精神科医及び臨床心理療法士とのディスカッション、精神科専門病院及び総合病院内精神科病棟の現場視察、セラピーセッションの体験、地域の精神障害者サポートセンターの現場視察などから、米国の精神障害者ケアの現状が多角的に理解できる

例えば隔離や身体拘束を最小限にする為の対策や入院中から退院後の更正を常に意識したケア管理、精神障害患者に対するコミュニケーションのアプローチ法、多職種チーム連携の実際など、日本とは違う考え方に触れる事で視野が広がり、日本の現場で使えるアイデアが多く見つけられます。

✓ 「ここが違う！」 ミレニアの米国医療研修

① 職人技 コーディネート

20年以上の医療研修実績から培ったノウハウで、お客様の研修希望内容をしっかり把握し、講師や視察現場スタッフと何度も事前に打ち合わせ、万全に準備します。

② とにかく分かりやすい！ 通訳

日米の医療現場を熟知し、インタビュー能力の優れたプロだからこそできる通訳。米国人現場スタッフと自由に意思疎通ができるから、ストレスがありません。



音楽療法の体験

✓ **過去の医療研修実績例**

東京大学附属病院、山口大学附属病院、福井大学附属病院、大分大学附属病院、名古屋市立大学病院
徳洲会グループ看護部、厚生労働省、看護協会(徳島、山口、岐阜、群馬など)、大阪府地域福祉推進財団、他

✓ **過去の研修参加者のコメント**

「日本での精神ケアの現状が全てだと考えず、広い視野を持つ必要性を強く感じた。精神科患者とのコミュニケーションのとり方のヒントとして、患者の前では自分はビデオカメラのように客観的に観察する事を意識したり、説得するのではなく理解するなど、実際の患者ケアで参考になる考え方が学べた。」

(友愛会 播磨サナトリウム 看護師)

✓ サンプル・スケジュール

| 日程 | 午前 | 午後 |
|----|---|--|
| 1 | 講義 ◆ 米国医療制度概要 - 各医療サービスと患者の流れ・日米比較 - DRG制度(疾病別包括支払い方式)採用による在院日数短縮等の医療システム変換 - 米国での精神科専門医療機関の現状 - 医療保険制度とマネージドケア (公的医療保険・民間医療保険とマネージドケアの仕組み) | 現場視察① 急性期精神科 専門病院 ・病院概要説明と病院内見学 ・臨床管理者によるプレゼンテーション (トピック例) - 精神疾患患者の入院治療の現状 (入院時の評価、急性期及び慢性期精神疾患の治療、退院計画、サポートグループ、患者の拘束及び権利など) - 精神障害患者の治療における社会的問題への対応 - 精神疾患患者治療に対するチームアプローチ |
| | ◆ 精神科医師(外来クリニック経営)によるプレゼンテーション (トピック例) - 外来ベースでの精神疾患治療の実際 - 診療内容、心療内科診断と評価 - 各種治療法の紹介 | 現場視察② 大手総合病院 精神科病棟 ・精神科病棟の概要説明と現場見学 ・臨床管理者との面談 (トピック例) - 入院から退院までのプロセスと外来への移行 - 患者の疾患レベルアセスメント - 社会復帰のためのリハビリテーションプログラム ・音楽療法士によるセラピーセッションの見学 |
| 3 | 現場視察③ 総合シニア継続ケアコミュニティ ・現場見学 ・施設管理者とのディスカッション (トピック例) - 認知症及び精神障害のある入居者に対する対応 - 家族に対する教育、メンタルケア - 薬物療法 | 現場視察④ 精神障害患者 サポートセンター ・センター管理者によるプレゼンテーション (トピック例) - 米国の精神科ケアの現状と問題点 - 米国での精神科患者に対する社会的偏見・差別の現状 - 精神疾患患者への効果的な声のかけかた、アプローチ法 - 患者及び家族サポートの現状と実際 研修のまとめ 米国精神科研修 修了書授与 |

視察先の事情により、研修先・内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

作成:ミレニアエデュケーション Copyright © Millennia Education 2013 本紙の無断複写・改造を禁止します。

お問い合わせ

ミレニア・エデュケーション

Millennia Holdings, Inc.

E-mail: info@iryu-kenshu.com

Web: www.iryu-kenshu.com

Tel: 1(米国 国番号)-213-252-1230